

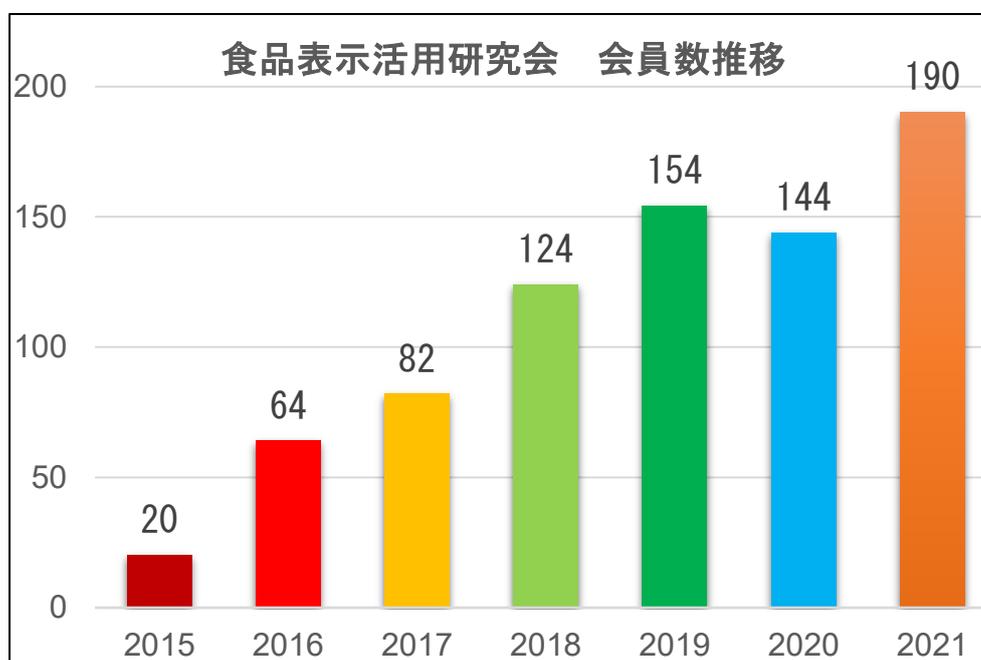
【食品表示活用研究会 2021年度活動報告】

＜食品表示活用研究会とは＞

食品表示検定試験の上級試験に合格された「上級食品表示診断士」の皆様が参加できる「上級合格者の会」の会員を母体とした食品表示を研究する会です。「上級合格者の会」の皆様から会員を募り食品表示をより良く理解し、仕事と実務・生活に活用しています。

2015年7月に研究会の前身となる「食品表示診断士勉強会」を発足し、食品表示の認知度アップと作成レベルの向上を図りました。翌2016年4月から「食品表示活用研究会」として正式に発足しました。

コロナ禍となった2020年度の会員数は144名と減少したものの、2021年度はZoomによるweb開催も取り入れ、全国からたくさんの方々に参加いただけるようになり190名と増加しました。会の企画・運営は研究会の有志による「世話人」が担当し、活発な活動を行っています。



＜食品表示活用研究会の目的＞

食品表示活用研究会は、研究会会員の自主的な活動で運営されています。

本会は

- 有識者等を招いての食品表示に関する理解の向上
- 会員同士の情報交換の促進による課題解決
- 消費者への食品表示ルール理解・促進
- 食品表示に関する調査研究の実施

を中心にわが国の食品表示制度の正しい理解と円滑な運営に寄与することを目的としています。

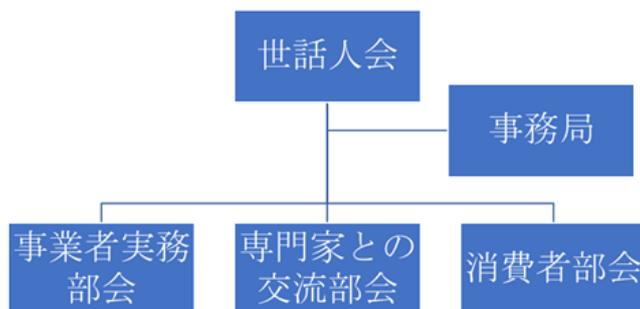
<食品表示活用研究会 2021 年度の活動>

●2021 年度：会員数：190 名 （うち世話人：13 名）

研究会の組織は、世話人会を中心に企画・運営を行います。会員は、3 つの部会のいずれかに参加する部会員か、特定の部会に属さず年一回の全体会議に参加する全体部会員の2つのコースに分かれます。

3 部会では担当部会を世話人がマネジメントします。

食品表示検定協会は事務局として研究会の活動をバックアップします。



●2021 年度：食品表示活用研究会 世話人 13 名 (敬称略)

2021 年 3 月時点

| 参加者名 | 部会 | 所属企業・団体 |
|-------|-----------|---------------------|
| 天明 英之 | 会長 | フード・オフィス・天明 |
| 岡本 美穂 | 専門家との交流部会 | 国分グループ本社株式会社 |
| 野口 忠司 | 専門家との交流部会 | 農園「花田夢」 |
| 古字 朗人 | 専門家との交流部会 | SOMPO リスクマネジメント株式会社 |
| 西山 麻由 | 専門家との交流部会 | マリンフーズ株式会社 |
| 高山 大介 | 消費者部会 | エスピー食品株式会社 |
| 村尾 崇文 | 消費者部会 | ハウス食品株式会社 |
| 中嶋麻衣子 | 消費者部会 | 株式会社ゼンショーホールディングス |
| 大西 由美 | 事業者実務部会 | アンデルセン・パン生活文化研究所 |
| 鈴木 美樹 | 事業者実務部会 | 日清食品ホールディングス株式会社 |
| 廣部 里栄 | 事業者実務部会 | 株式会社おとうふ工房いしかわ |
| 神志那武史 | 事業者実務部会 | デリア食品株式会社 |
| 長橋 宏明 | 事業者実務部会 | ベーカー&マッケンジー法律事務所 |

●2021 年度の活動方法について

1. 2021 年度も新型コロナの感染は継続しており、コロナ禍で安全に活動するために、昨年同様「集合活動のためのガイドライン」を遵守し、「事前アンケート」を実施した。
2. 活動は集合活動+Zoom 参加を基本としたが、事務局所在地の東京に緊急事態宣言が出ている場合は Zoom 参加のみとし、集合活動は中止とした。
3. 集合活動は感染防止対策を徹底させた。(マスク着用、入室時の手指のアルコール殺菌、検温、ソーシャルディスタンスの確保、換気)
4. グループディスカッションはソーシャルディスタンスを取って実施した。Zoom のブレイクアウト機能を活用した。

●部会の活動(会員募集時の紹介文から抜粋)

研究会は、2021 年度は 3 つの部会と全体会議でそれぞれ活動を行い、活発な意見交換、啓発活動および専門家による知見の深耕を行いました。

| 部会名 | 活動内容 | 部員数 |
|-----------|---|------|
| 事業者実務部会 | 食品表示の実務に関わる方が集まり、食品表示に関する悩みの共有・解決に向け様々な意見交換や討議を行いお互いの知識や知恵を高め合いながら、企業の壁を越えた会員同士の交流を図ります。コロナ禍で本部会は食品表示業務にかかわる最前線の皆様と、セミクローズな環境下でリアルなお話や交流が出来る稀有な運用となっております。 コロナ禍でリアルな交流が難しくなっておりますが、オンラインや会場とオンラインのハイブリッド開催等で運営を開始しており、今まで参加が難しかった遠方の方でも参加しやすくなっています。 | 57 名 |
| 専門家との交流部会 | 食品表示に関わる専門家の講演を通して食品表示を行う際の注意点、配慮すべき事項、その表示の背景等、食品表示についての理解を深めます。また事前アンケート等による質疑応答の時間も設けます。 | 75 名 |
| 消費者部会 | 消費者との交流を通して、食品表示を理解するために必要な基本的な知識の習得を促す活動を行います。 (1) 専門家による「消費者視点からの食品表示」の講演およびグループディスカッションによる学習。 (2) これまでの消費者部会で作成した「消費者が食品表示を読み説くための解説書」を活用し、食品表示に関する消費者との意見交換会の開催。 | 18 名 |
| 全体部会 | 3 つの部会に所属せず、年 1 回の全体会議に参加できる会員。仕事で忙しい方、遠隔地の方などの会員が多い。 | 40 名 |

*部員数は担当世話人も含みます。なお、会長は全体の運営を監督し、担当はありません。

●各部会の活動実績

| | 事業者実務部会 | 専門家との交流部会 | 消費者部会 |
|-------------|--|---|---|
| 第1回 | 2021年8月30日(月) | 2021年9月6日(月) | 2021年9月3日(金) |
| テーマ (講師) | 「地域産品のパッケージデザインと一括表示チェックから思うこと」 (FOODYELL 代表 藤本 恵子氏) | 「食品表示の過去・現在・未来」 (一社)食品表示検定協会 理事長 湯川 剛一郎氏) | 1) 昨年度までの部会活動で作成した「食品表示の解説資料」のプレゼンテーション。 2) グループワーク：農大オープンカレッジに向けた解説資料のブラッシュアップ |
| 会場 | Zoom (部会世話人のみ協会会議室) | Zoom (部会世話人のみ協会会議室) | Zoom (部会世話人のみ協会会議室) |
| 第2回 | 2021年12月1日(水) | 2021年12月3日(金) | 2021年10月6日(水) |
| テーマ (講師) | 1) 「百貨店の品質管理の取組み～お客様の安心・安全のために～」 (株)ジェイアール西日本伊勢丹 團 涼太氏) 2) グループディスカッション 「食品表示に関する人材教育での課題と解決案」 | 「日本食品表示成分表 2020年版(八訂)改訂のポイントと活用方法」 (学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊 智子氏) | 東京農大オープンカレッジ 「意外と知らない食品表示」講座にて一般消費者と直接コミュニケーションする。前半は会員による講義。 後半は受講者と「商品選択に役立つ食品表示とは？」についてグループディスカッション。 |
| 会場 | Zoom (部会世話人のみ協会会議室) | 東京栄養食糧専門学校+ Zoom | 東京農大オープンカレッジ+ Zoom |
| 第3回 | 2022年2月15日(火) | 2022年3月7日(月) | 2021年12月6日(月) |
| テーマ (講師) | 1) 「添加物の不使用表示に関するガイドライン案について話そう」 2) 「表示についての疑問を誰谷聞きたい、解消したい」 3) 「表示のデジタル化など、これからの表示について広く意見交換しよう」のテーマで部員間のコミュニケーションに重点を置いた部会を実施。 | 「計量法における食品表示」 (東京都計量検定所 検査課 立入検査担当 強口 渉氏) | 1) 加工食品表示の活用 2) 栄養・健康関連の情報提供の2つのテーマについて、消費者市民社会をつくる会(ASCON)と意見交換会を実施。 |
| 会場 | Zoom (部会世話人のみ協会会議室) | Zoom (部会世話人のみ協会会議室) | 食品衛生センター5階講堂+ Zoom |

●研究会全体の活動（会員のうち、希望者は全員参加可能）

| | |
|-------------|---|
| 開催日 | 2021年10月12日（火） |
| テーマ （講師） | <p><消費者庁との意見交換会> 於）ビジョンセンター永田町+WEB会議</p> <p>1) 「食物アレルギー表示ハンドブックの解説」（食品表示企画課 課長補佐 宇野様）</p> <p>2) 原料原産地表示完全施行まで6か月、事業者が注意すべきポイント （食品表示企画課係長 松原氏）</p> <p>3) 新たな遺伝子組換え表示制度について（食品表示企画課 石田氏）</p> |
| 開催日 | 2022年3月16日（水） |
| テーマ （講師） | <p><3部会合同成果発表会> 於）ビジョンセンター永田町+WEB会議</p> <p>1) 2021年度の全体活動報告</p> <p>2) 特別講演「“教育”から“共有（シェア）へ！” “事業者目線”から“消費者目線”へ！ ～食品事業者のみなさまに伝えたいこと～」 （消費者市民社会をつくる会 代表理事 阿南 久氏）</p> |

●その他の活動

活動状況の共有のためのメールマガジン4回発信

<参考>

- 第2回消費者部会：2021年10月6日実施 消費者との意見交換会
活用研究会で作成した「消費者が食品表示を読み解くための解説資料」で食品表示ルールを説明後、食品表示に対して普段抱いている疑問点に関するグループディスカッションを実施した。



- 消費者庁との意見交換会：2021年10月12日実施
 コロナ禍でもWEBで多数の参加があり、消費者庁担当者の方との情報交換が行われた。



- 3部会合同成果発表会：2022年3月16日実施
 年度の総括として各部からの活動報告および特別講演に「消費者市民社会をつくる会」代表理事阿南久様をお迎えして盛況に開催された。こちらもWEBで多数の方が参加された。

